

8. 拡大製造者責任(EPR)と環境先進性

(1) 「次世代型」

生分解性プラスチックは、「次世代型」である。「生分解性」が組み込まれ、使用后廃棄される時は自然へ還る道筋が自分の中に組み込まれている。**拡大製造者責任**(EPR ; Extended Producer Responsibility)がその**分子設計**の段階からビルドインされているのである。

(2) 廃プラ散乱ゴミ

生分解性プラスチックは、まず①**「散乱ゴミ」対策**として、生態系に負荷をかけ物質循環を攪乱する「廃プラ散乱ゴミ」の原因である「汎用プラ」の代替である。

次いで、②**有機性廃棄物(循環資源)**と共に**分離することなく使用出来**、物質循環の正常化に寄与するのである。

生分解性プラスチック普及への取り組みには、新規な**「社会参加」**の行動として、個人の意識の中にも、社会の構造の中にも、存在する圧倒的な**「抵抗勢力」**との対決が不可欠である。